

# 太陽の子

2016年 4月 No.155

春の号

発行

日立市助川町5-14-8

TEL(23)2620 FAX(33)9150

ホームページ <http://www.taiyonoie.com>

Eメール [npo@taiyonoie.com](mailto:npo@taiyonoie.com)

NPO法人 日立太陽の家

日立重症心身障害児(者)を守る会

日立太陽の家支える会



利用者さんと育んだキリンも100頭を超え、今まさに皆さんの元へお届けされる時を待っています。かわいがってくださいネ!(しいの木学園)

## 二十八年度重点事業 『課題対応事業』

NPO法人日立太陽の家

理事長 小又克也

相談支援事業をとおして様々な課題が寄せられる。長い間どこに相談することもなく、当事者、家族だけで苦しみ、悩んでいた現実と出会うこともある。

日立太陽の家がNPO法人全体で提供できる支援は、福祉の現場で必要とされていることのほんの一部に過ぎないことを実感する瞬間でもある。課題解決のための法整備が整っていないこともあるし、その課題解決を準備範囲にしている事業所そのものがないのだ。

しかしながら、そのような状況にあっても、何とか対応しようとしている人たち、事業所とも出会い、課題解決という共通の目標に向かって少しでも歩き始めてはいるが、解決にはまだまだ道のりがある。

この四月から、NPO法人の自主事業として『課題対応事業』を始めることにした。法整備が整うまでの間だけでも、もちろん小さな歩みであることはわかっているが、他にご協力をいただける人たち、事業所の方々と一緒に取り組んでいこうと思っている。行政、日立市障害者自立支援協議会などからさらにインフォーマルな力も寄せていただき、少しずつでも課題が解決できればいいと思う。

さて、日立市全体に目を向けると、鳩が丘障害者福祉施設再整備の計画が少しずつ具体的に見えてきた。四十六年が経過し、老朽化した日立市太陽の家の歴史を思うと感慨深いものがある。一方で創立当時から変わらぬ太陽の家の『理念』(こころは書物にないものを学ぶところである……)に触れる時、先人の深い心に改めて心動かされる。

同時に、永きにわたり太陽の家を支えて下さる方々に対しては『笑顔と感謝』の合い言葉を添えて心からお礼申し上げます。

『いつもありがとうございます。』

# NPO 法人事業新年度抱負

## 平成28年度

### 始まりました

日上市太陽の家 サービス管理責任者

星野 久美子

太陽の家45周年を経て新しい歴史が動き始めました。華やかに歩むのではなく、地に足をつけて「温故知新」の心で一歩ずつ誠実に歩んでいきたいと思ひます。今年度は、職員の異動があり新しい職員が仲間入りして利用者、保護者の皆様には、さみしさや戸惑いもあるかと思ひますが、いつも笑い声が響き新鮮な風が吹きながらも心穏やかで変わらない日常を目指し、心地よい心安らぐ場所であるために利用者、保護者の皆様に協力をお願いいたしますのでどうぞよろしく願ひします。

## サービス管理

### 責任者として

ひまわり学園 サービス管理責任者

玉木 美沙

以前にも書きましたが、私が産休明けで理事長のところにいくと「ひまわり学園でサービス管理責任者ね」との宣告。私でいいのだろうかと不安でいっぱいでしたがうれしいことにひまわり学園には半年間、市役所の職員がいてくれました。ひまわり

り学園のサービス管理責任者としてゆつくり学んでいくことができました。これまで築き上げてきてくれたサービスを低下させないよう、日々の向上をめざして取り組んでいきたいと考えています。

## 一日一笑

しいの木学園 サービス管理責任者

椎名 桂子

この言葉は私が尊敬するグループの中の一人で難病を抱えながらも自分の道をまっすぐ進んでいる方の座右の銘。一日一回は心から笑うこと、一日一回は誰かを笑わせること。太陽の家の合い言葉にも当てはまり、不思議な縁を感じました。まだまだ未熟者の私が4月からサービス管理責任者としてやっていくのだろうか...不安もありますが、周りにはたくさん仲間がいる。利用者さんの笑顔がある。私は幸せ者です。利用者さんの笑顔のために、仲間と共に一緒に歩んでいきたいと思ひます。

## 新しい歩み

風の家 サービス管理責任者

井関 えり子

自立にむけ宿泊の訓練の場所として重度障害者の皆さんのグループホームとしての役割が軌

道に乗ってきました。今後も進歩しながら、安心して利用出来るもう一つのホームとしての役割を担っていきたいと思ひます。又、新年度は、風の家の一室をひまわり学園やしいの木学園の利用者の緊急時に短期入所が適わない時の緊急一時保護としての役割を担っていきけるよう準備をすすめています。利用される方と家族の安心のために何が必要か確認しながら新しい歩みを進めていく所存です。

## 思うこと

相談支援専門員 横田 寿子

春は生活の変化があった方もたくさんいらっしゃると思ひます。新しい環境でのいろいろなリズムになったり、気持ちの面で変化がある事も多いと思ひます。日々、利用者さん、ご家族の方とお会いしたり、お話しさせていたただいて、いろいろなことを学びながら一緒に成長させていたただいている相談員ですが、今年度も相談員一同、一生懸命に「望む生活」へのお手伝いが出来たらと思ひます。どうぞ良かったらいつでもお話し下さい。

## 居宅介護事業所の歩み

サービス提供責任者

飯田 浩子

太陽の家居宅介護事業所が開所して、今年で8年目に入ろうとしています。職員の『たすけ

たい』『まもりたい』の気持ちからスタートした事業所、1年目は、お仕事を探して、利用者さんと一緒にいろいろな所へ出掛けました。2年目、定期的なお仕事が決まってきました。3年目、利用者さんが『使いたいな』と思ってくれるようになり、4年目、利用者さんの『必要としている声』に少しづつ応えることができるようになりました。5年目、一人では解

## 職員リレー

### 未知の可能性

ひまわり学園 生活支援員

富岡 昌弘

ひまわり学園に勤務している生活支援員の富岡です。利用者さんにとって楽しく過ごせる場所を提供し、自立した生活が送れるよう支援をしています。いまままで出来なかったことが出来るようになること。これはとても素晴らしいことだと思ひます。しかし、そこまでの過程は利用者さん本人にとって、とても大変なことでもあります。

私が初めて担当させていたただいた方のお話です。その方は転倒の危険があるので、ご家族に相談し、学園に登園した際にはヘッドギアを装着することになりました。しかし本人は帽子などを被るのが好きではありません。初日はとても嫌がり1秒たりとも被ることはありませんでした。それが次第に、5秒、30秒

決できない課題も見えてきました。6年目、7年目、たくさん利用者さんが居宅を利用してきています。職員の数も、3人から17人に増えました。今年度はどんな1年になるのでしょうか？これまでと変わらず、利用者さんやご家族、たくさんの方から力をもらいながら、居宅職員一同、ここを込めたサービスを提供していきたいと思ひます。

1分と継続して装着できる時間が伸びていきました。毎日毎日「被るのは1回だけだから頑張ろうね」と言われ、とても辛かったと思ひます。1年後には自ら外すことはほとんど見られなくなりました。そのときの感動を今でも忘れません。このことは私が気づいていないだけで、利用者さんにはもっともつとたくさん可能性が広がっているのだと教えてくれました。ひまわり学園に勤務して3年目になりますが、利用者さんに驚かされることは今でもありません。おひとりおひとりと向き合い、利用者さんの持つ能力、可能性を少しでも引き出すことができるよう、また通園を楽しみにしていた、ただけるよう支援していきたいと思ひています。

# 日立守る会だより

日立重症心身障害児(者)を守る会

## 最近思う事

佐藤 芳昭

平成二十七年四月一日から茨城県で「障害者権利条例」が施行され、また平成二十八年四月一日から国の法律として「障害者差別解消法」が施行されることになりました。

これら一連の条例や法律は、障害者は勿論その家族にとっても誠に有り難いことであると思うのです。私も障害者を持つ親としては非常に喜ばしい事なのかなと思っっている一人ですが、理想としてはこのような条例や法律を作らなくとも世の中が自然とそのようなことになるのが誰もが一番望んでいることです。

しかし、これらの条例や法律は使い方によっては大変な事になってしまうような感じがしてならないのです。

障害者団体は数多くありますが、権利の裏には必ず義務があることを考えず、条例や法律を笠に着て如何にも障害

者の特権で有るかのごとき言動を取るような事になりはせぬかと非常に危惧している者です。

過日ある研修会に参加した事がありますが、その時の質疑応答の中で、その質問内容が何か自分本位な内容に感じられ、ある種の寂しさとか、情けなさとか奇妙な思いに駆られたことを覚えております。何か権利ばかりを主張する風潮が目立つような気がしてならないのです。

これまでもそうですが、主張する裏には必ず行うべき義務もある事を念頭に置きながら色々活動をしてきました。これが当然な事であり、そしてこれからの考え方を踏まえながら活動していきたいと思っております。

障害者権利条例が施行されてまだ一年弱ですし、障害者差別解消法はこれから(前述

の通り平成二十八年四月一日の展開になります。これからのような状況になるかは分かりませんが、その趨勢を見続けていきたいと思っております。主張する裏には必ず行うべき義務もある事を念頭に置きつつ対応したいものですし、これもまた当然な事と思っております。

私が最近思っている事について縷々書いてみました。これを読まれた方の中には、ある種の反撥というか憤りのようなものを感じるであろうと思ひながら覚悟の上で私の思いを書いた次第です。

障害者だからと前面に出過ぎて世の中の人々に理解や協力を得られなくなつては条例や法律を制定した意味がなくなつてしまいます。私の考え方が非常に弱く、間違っているかも知れませんが、特に「心」の住みにくさを感じるようにならない為にも、これからお互いが協力しながら行動していきたいものです。私は常に「中庸」が大切であると思ひ、そして出来るだけそのような行動を取るよう心掛けたいものと常々思っております。

私が最近思っている事の一部を申し述べてみた次第です。

## 訪問リハビリを始めて

篠原 順子

昨年五月から、週一回訪問リハビリを始めました。

以前は病院でやっていましたが、体に力が入ると車椅子に乗るのも大変で、自宅でもリハビリ出来ないかと考え相談すると、家の近くでリハビリに力を入れてある病院があり、訪問もやっているということでお願ひしました。

初めは、子供も緊張していましたが、回数を重ねるうちに先生にも慣れ、今では話しをしながらリラックスして出来るようになりました。

これからも子供が少しでも楽に体を動かせるようリハビリを続けていきたいと思ひます。

## 最近思う事

綿引 利恵

子供の頃から病気には縁のなかつた私が、二年前に病気が見つかり、つい先日病院に緊急入院してしまいました。今、太陽の家に通園している皆さんは、それなりにそのお歳まで通園できたわけで、親御さんもそれなりに年を重ねてきたわけであり、それはそれで大変な事もあつたかと思ひます。

前々から子供が成長するという事は、自分も歳を取る事であり、やはり将来の事を心配に思つてきました。他の子供たちにはそれぞれの人生があるわけだから、あまり迷惑をかけたくないと思うし、では最終的にどこに子供を託すかという事になってきます。今までに、水戸、高萩の施設に短期で預けてきましたが、どこもなかなか受け入れが難しい状態のようです。二十年前までは、健常者だった家族にはわからなかつた部分があり、今現実として目の前にあるわけですから、いかに受け入れ施設が少ないかという事です。今、私たち家族は主人と子供、私と三人で生活しています。私が入院する事で主人に負担がかかり、入院している間だけでも短期入所だと思ひましたが、インフルエンザの時期でもあり、施設側から断られました。日中は居宅等を利用しながら何とかやり過ごしましたが、今回のような事はこれからは起こり得る事であり、どうしたものかと考えています。介護的な施設は必要もあり、どんどん増えていきますが、障害者は施設があま

りにも少なすぎると思ひます。



今夜のディナーのメイン料理は大きなエビフライ！  
女子会のはじまりはじまり。

(風の家)



木製のパーツを組み合わせ、世界にひとつだけのカレンダーを作りました。大好きな動物やハートをつけて、みんなうれしそうです。

(ひまわり学園)



2月に行われた豆まき会での1コマです。2匹のオニと一緒に記念撮影をしました。今年1年も元気にすごしていきたいですね！

(日立市太陽の家)



那珂市役所前のまがり屋にあるかざりびなはとてもきれいでした。飛来した白鳥へのエサやりにも挑戦！楽しい時間を過ごし、またこようねと約束しました。

(日立太陽の家居宅介護事業所)

◎平成二十八年年度

NPO法人日立太陽の家

各事業所利用者数

日立市太陽の家

総数 二十四名

男性 十三名

女性 十一名

日立市ひまわり学園

総数 二十八名

男性 十八名

女性 十名

日立市しいの木学園

総数 二十三名

男性 十八名

女性 五名

日立太陽の家居宅介護事業所

総数 五十二名

男性 三十一名

女性 二十一名

日立太陽の家相談支援事業所

総数 百二十二名

男性 六十六名

女性 五十六名

風の家

総数 二十三名

男性 十二名

女性 十一名

お知らせ

四月から利用される方の紹介

○日立市ひまわり学園

・遠藤 悟さん

○日立市しいの木学園

・石井 智光さん

新しい環境で、たくさんの方の経験を通し、有意義な時間を重ねるお手伝いができればと思います。

○計報

ひまわり学園

多田尚正さん

日立市太陽の家

澤島康さん

ご冥福をお祈りいたします。

ご寄付ありがとうございました

○次の方から寄付を頂きました(敬称略) 十二月〜二月  
善和会 鈴木貫一 嶋崎陽一  
仁和会 多賀向上会

大みかゼミナール 鈴木稔

人形劇かくれんぼ

○次の方から物品の寄贈がありました(敬称略)

十二月〜二月

椎名将光 鈴木一江 善和会

三浦信孝 とく名 有馬郷子

人形劇かくれんぼ

日立製作所電力システム社

水出浩司 澤島京子

大森健二 森山唱子

村田理恵 根本将伍

鈴木恵子 前田あけみ

編集後記

新年度を迎え、繋いだ絆の輪をより大きく広げることができればと思います。(K記)